

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	ふれあいルーム事業助成金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市ふれあいルーム事業助成金交付要綱		
交付の目的	市民団体等と連携し、絵本を通じて親子のふれあいを促進することにより、子育てに対する保護者の負担感の軽減及び子育て力の向上を図ると共に、子どもの読書活動を推進する。		
補助対象経費	人件費、通信運搬費、消耗品費、印刷製本費等事業の実施に要する経費		
補助率・補助額	全額補助		
交付先	団体(不特定)		
開始年度	平成18年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

## 2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	1,680	1,800	1,800
決算額	1,680	1,780	1,680
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	1,680	1,780	1,680

  

(件)			
交付実績	10	10	9

## 3. 補助金の見直し

### ①補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	多胎児家庭育児支援事業(ファミリーサポートセンター利用料補助)補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市多胎児家庭育児支援事業実施要綱		
交付の目的	双子、三つ子等の多胎児を養育している世帯に対して、ファミリーサポートセンター利用料の助成を行うことにより、保護者の精神的、身体的負担を軽減し、子どもの健やかな育ちを促進する。		
補助対象経費	枚方市ファミリーサポートセンターの利用に係る費用		
補助率・補助額	全額補助		
交付先	個人		
開始年度	平成24年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 〇 その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

## 2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	72	72	72
決算額	32	78	30
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	72	78	30

  

(件)			
交付実績	H28	H29	H30
	12	38	7

## 3. 補助金の見直し

### ①補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

その他

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	他の類似制度と重複が無いか確認をした。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続			
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。			
対応完了・廃止予定時期	R2年度末			

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	私立保育所等職員研修費補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市私立保育所等職員研修費補助金交付要領		
交付の目的	私立保育所等の職員の資質向上により、もって児童福祉の増進に寄与する。		
補助対象経費	研修実施に要する報償金、賃借料、役務費等		
補助率・補助額	定額補助		
交付先	枚方市私立保育園連盟		
開始年度	平成5年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

## 2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	450	450	450
決算額	450	450	450
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	450	450	450

  

(件)			
交付実績	H28	H29	H30
	1	1	1

## 3. 補助金の見直し

### ① 補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		補助金交付先が私立保育園連盟であるため、広くホームページ等で公表していないが、公表については検討を行う。	R2年度中

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	子ども・子育て支援事業補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市私立保育所子ども・子育て支援事業補助金、枚方市小規模保育所子ども・子育て支援事業補助金、枚方市認定こども園子ども・子育て支援事業補助金、保育対策総合支援事業補助金、子ども・子育て支援交付金		
交付の目的	保育内容及び地域における子育て支援サービスの充実を図る。		
補助対象経費	事業の実施に係る運営費(保育材料費等)、職員の加配に係る人件費等		
補助率・補助額	その他		
交付先	私立保育所、私立認定こども園		
開始年度	平成26年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助 <input type="radio"/>	団体運営補助 <input type="checkbox"/>	事業費補助 <input type="checkbox"/> その他 <input type="radio"/>
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

## 2. 補助金の決算状況等

				(千円)		
		H28	H29	H30		
予算額		1,545,073	1,623,426	1,815,910		
決算額		1,247,953	1,229,306	1,295,857		
特定財源	国庫支出金	56,582	62,950	70,427		
	府支出金	49,827	52,906	53,521		
	その他	0	0	0		
一般財源		1,141,544	1,113,450	1,171,909		
(件)						
交付実績		48	48	47		

## 3. 補助金の見直し

### ① 補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページ等で公表していないが、公表について検討を行う。	R2年度中

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

その他

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	他の類似制度と重複が無いか確認をした。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金のメニューである「保育所等入所枠拡大補助事業」を令和元年度をもってサンセットするとともに、本市の喫緊の課題である保育所等の保育士不足の解消を図るため、雇用促進と離職防止につながる保育士等への本市独自の処遇改善を新たに実施する。 また、本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末



# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	一時預かり事業補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市一時預かり事業補助金交付要綱・枚方市一時預かり事業(幼稚園型)補助金交付要綱		
交付の目的	保育ニーズが多様化している中で、保育の要件を満たさない児童(保護者の入院や育児疲れ、週2、3日程度の就労)を対象に、市民が安心して子育てができるよう、一時預かりを実施する。 また、幼稚園及び認定こども園に在籍する児童を対象に、平日の教育時間前後、長期休業日及び休日に一時預かりを実施する。		
補助対象経費	事業実施に要する運営経費(主に保育士等の人件費)		
補助率・補助額	その他		
交付先	一時預かり事業を実施する市内の私立保育所、一時預かり事業(幼稚園型)を実施する私立認定こども園・私立幼稚園		
開始年度	平成4年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	○	団体運営補助
法令等での義務付け	なし	法令等名称	
		事業費補助	その他

## 2. 補助金の決算状況等

(千円)				
	H28	H29	H30	
予算額	114,994	115,922	110,956	
決算額	79,922	93,618	83,404	
特定財源	国庫支出金	24,963	29,173	26,805
	府支出金	24,963	29,173	26,805
	その他	0	0	0
一般財源	29,996	35,272	uu	

(件)

交付実績	19	20	20
------	----	----	----

## 3. 補助金の見直し

### ①補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページ等で公表していないが、公表について検討を行う。	R2年度中

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	保育士資格取得支援事業補助金				
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課				
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市私立保育所保育士資格取得支援事業補助金交付要綱、保育対策総合支援事業費補助金				
交付の目的	保育所または認定こども園に勤務する職員の保育士資格の取得を支援し、保育所等における保育士確保を図り、子どもを安心して育てることができる体制の整備を行う。				
補助対象経費	保育士資格を有していない、保育所または認定こども園に勤務する者が、保育士資格を取得するために必要となる養成施設の受講料(教科書代、教材費含む)、入学料				
補助率・補助額	定額補助				
交付先	私立保育所、私立認定こども園				
開始年度	平成27年度		終期年度	R4年度末(サンセット期日)	
補助金性質分類	制度的補助	○	団体運営補助	事業費補助	その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称			

## 2. 補助金の決算状況等

		(千円)		
		H28	H29	H30
予算額		1,232	1,000	700
決算額		377	45	34
特定財源	国庫支出金	120	0	17
	府支出金	108	0	0
	その他	0	0	0
一般財源		149	45	17
		(件)		
交付実績	4	1	1	

## 3. 補助金の見直し

### ①補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続			
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。			
対応完了・廃止予定時期	R2年度末			

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	施設整備補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	大阪府安心子ども基金特別対策事業補助金交付要綱、保育所等整備交付金交付要綱		
交付の目的	私立保育所及び市内私立認定こども園の増改築等を推進し、良好な保育環境を整備するとともに、定員増を図り、待機児童の解消に努める。		
補助対象経費	整備に要する経費		
補助率・補助額	定率補助		
交付先	市内私立保育所、市内私立認定こども園		
開始年度	平成21年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	○	団体運営補助
法令等での義務付け	なし	法令等名称	事業費補助
			その他

## 2. 補助金の決算状況等

(千円)

	H28	H29	H30
予算額	175,649	202,997	477,284
決算額	175,649	202,997	203,232
特定財源	国庫支出金	155,032	157,118
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	20,617	45,879	34,148

(件)

交付実績	8	19	18
------	---	----	----

## 3. 補助金の見直し

### ①補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	産休等代替職員費補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市産休等代替職員費補助金交付要綱		
交付の目的	出産又は傷病のために長期に休業する必要がある場合に、当該職員の職務を代わって行う職員の臨時的な雇用等をするための経費を補助することにより、当該職員が休業しやすい環境を整備し、もって児童等の処遇の改善に資する。		
補助対象経費	正規職員(保育士・栄養士・調理師・看護師等)が産休・病休を取得するにあたり、代替職員として臨時に職員を雇用した場合、その職員の雇用に要した経費。ただし、休業する職員が休業中に全額給与とされるのが前提		
補助率・補助額	定額補助		
交付先	私立保育所		
開始年度	平成26年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

## 2. 補助金の決算状況等

(千円)

	H28	H29	H30
予算額	1,987	1,744	1,347
決算額	260	1,142	1,968
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	260	1,142	1,968

(件)

交付実績	1	5	7
------	---	---	---

## 3. 補助金の見直し

### ① 補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページ等で公表していないが、公表について検討を行う。	R2年度中

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末



# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	私立小規模保育事業補助金				
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課				
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市小規模保育事業所A・B型子ども・子育て支援事業補助金交付要綱				
交付の目的	小規模保育事業を実施している施設の保育内容及び地域における子育て支援サービスの充実を図る。				
補助対象経費	通常保育および職員の加配に係る人件費等				
補助率・補助額	その他				
交付先	小規模保育事業A型・B型実施施設				
開始年度	平成27年度		終期年度	R4年度末(サンセット期日)	
補助金性質分類	制度的補助	○	団体運営補助	事業費補助	その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称			

## 2. 補助金の決算状況等

		(千円)		
		H28	H29	H30
予算額		6,257	11,328	5,672
決算額		1,183	864	11,399
特定 財源	国庫支出金	67	150	800
	府支出金	67	150	800
	その他	0	0	0
一般財源		1,049	564	9,799
		(件)		
交付実績		3	6	9

## 3. 補助金の見直し

### ①補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のものだけに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページ等で公表していないが、公表について検討を行う。	R2年度中

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	幼稚園等幼児教育充実事業補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市私立幼稚園等幼児教育充実事業費補助金交付要綱		
交付の目的	特色のある幼児教育事業を実施する市内の私立幼稚園等の設置者に対し、私立幼稚園等幼児教育充実事業費補助金を交付することにより、私立幼稚園等に通う幼児の健やかな成長と学びを支援するとともに、幼児教育全般の充実を図る。		
補助対象経費	講師謝礼、教材費、材料費等		
補助率・補助額	定率補助		
交付先	市内の私立幼稚園、認定こども園		
開始年度	平成24年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

## 2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額	5,700	5,100	5,100
決算額	5,051	4,939	4,814
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源	5,051	4,939	4,814

  

(件)			
交付実績	H28	H29	H30
	18	17	17

## 3. 補助金の見直し

### ① 補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	私立幼稚園預かり保育事業補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市私立幼稚園預り保育事業補助金交付要綱		
交付の目的	私立幼稚園において教育課程の前後の時間、休日等に行う預かり保育事業の促進を図る。		
補助対象経費	事業実施に要する運営経費(主に人件費)		
補助率・補助額	その他		
交付先	市内の私立幼稚園(私学助成園)		
開始年度	平成29年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助 ○ その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

## 2. 補助金の決算状況等

(千円)			
	H28	H29	H30
予算額		21,600	21,600
決算額		11,610	14,415
特定財源	国庫支出金	0	0
	府支出金	0	0
	その他	0	0
一般財源		11,610	14,415
(件)			
交付実績		8	9

## 3. 補助金の見直し

### ① 補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。	✓		
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。	✓		

②補助金性質分類別の視点

事業費補助

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	市が公益上必要と認める特定の事業や活動に限定した補助金交付となっている。	✓		
	交付団体の財政状況等を勘案し補助金交付が必要であると客観的に認められる。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末

# 補助金チェックシート

作成年度: 令和元年度

## 1. 補助金の内容

補助金名称	私立幼稚園一時預かり事業補助金		
所管部署	子ども青少年部 子育て事業課		
根拠名称 (交付規則以外)	枚方市私立幼稚園一時預かり事業補助金交付要綱		
交付の目的	私立幼稚園において2歳児の受入れを行うことで、特に待機の多い3歳未満児の待機解消を図る。		
補助対象経費	事業実施に要する運営経費(主に保育士等の人件費)		
補助率・補助額	その他		
交付先	私立幼稚園		
開始年度	平成30年度	終期年度	R4年度末(サンセット期日)
補助金性質分類	制度的補助	○	団体運営補助
			事業費補助
			その他
法令等での義務付け	なし	法令等名称	

## 2. 補助金の決算状況等

				(千円)
		H28	H29	H30
予算額				22,860
決算額				2,998
特定財源	国庫支出金			999
	府支出金			999
	その他			0
一般財源		0	0	1,000
				(件)
交付実績				1

## 3. 補助金の見直し

### ①補助金交付の基本的な視点

#### i 継続の判断(いずれかが不適合の場合は廃止)

視点	チェックポイント	チェック
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓
	ニーズが高い又は高いニーズが見込まれる補助金である。	✓
有効性	期待する効果をあげている。又は効果をあげる見込みがある。	✓
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓

ii 補助金制度の検証

視点	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
必要性	調査等により市民のニーズを的確に把握している。又は他市町村でも同様の補助制度が多数存在することを確認している等、ニーズの推定ができています。	✓		
	一定数の交付申請件数がある。	✓		
有効性	補助金交付の具体的な効果測定方法が確保されている。		現時点で効果測定方法が確保されていないが、今後方法等を検討する。	R2年度中
	終期設定がされている。	✓		
公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓		
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等の妥当性について確認している。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。	✓		
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できている。		ホームページ等で公表していないが、公表について検討を行う。	R2年度中

②補助金性質分類別の視点

制度的補助

該当	チェックポイント	チェック	対応案	対応予定時期
○	国や府の法令等に基づく補助金であり、現在も制度が継続している。	✓		
	市単独の上乗せ等を行っていない。	✓		

4. 補助金の今後の方向性

方向性	改善して継続
上記方向性を 選択した理由 (「改善して継続の 場合は改善内容」)	本補助金の効果測定方法について検討する。
対応完了・廃止予定時期	R2年度末